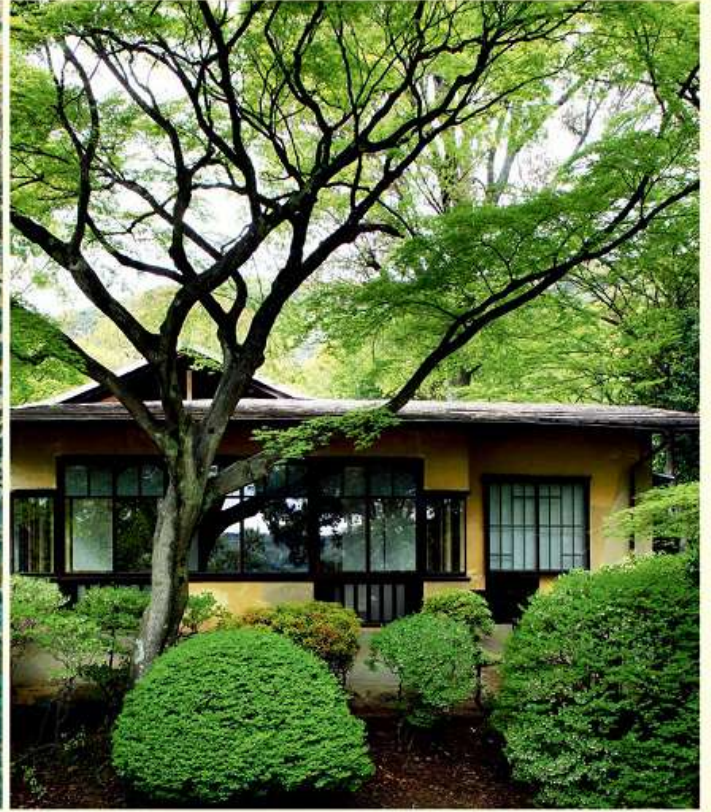


太田喜二郎と藤井厚二

日本の光を追い求めた画家と建築家



太田喜二郎《赤い日傘》1912年 新潟大学



藤井厚二《聴竹居》重要文化財 1928年 写真・古川泰造 写真提供・竹中工務店

近代京都の洋画家・太田喜二郎と、
ジャンル異なる二人について、そ



近代京都の建築家・藤井厚二。
の交流を通じて紹介することで、



本展は、絵画と建築という
日本の近代文化の一側面

に光をあてます。太田は東京美術学校（現・東京藝術大学）を卒業
派風の点描で



描く技法を身につけました。そして



後、ベルギーに留学し、明るい光を印象
帰国後は、日本の柔らかな光を描く方法

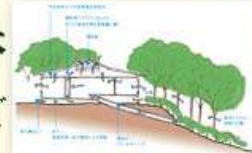
を模索しました。

一方、藤井は東京帝国大学（現・東京大学）を卒業、竹中工務店に勤務した後、欧米を

視察、帰国後



は西洋の技術を取り入れながらも、日本
建築学科で



の気候風土にあう住
デザインの教える講師

として招かれた太田は、同じ頃に講師として着任した藤井と知り合います。やがて、太田は自邸の設計を藤井
に任せ、また



二人は茶事などを通じて交流を深め
本展は、そんな



太田と藤井の仕事
紹介します。



を、新発見の資料などを踏まえて、絵画と建築をクロスさせた新しい視点から

左上から太田喜二郎《自画像》、太田喜二郎《藤井厚二肖像画》、太田喜二郎《目黒》、太田喜二郎《サン・ピエール寺（夕陽）》姫路市立美術館、《太田邸模型》、
松隈章作図《聴竹居》の通気の仕組み、《太田喜二郎から藤井厚二宛書簡》竹中工務店、藤井厚二《茶碗 藤井 寄せ書き》、《聴竹居 客室 枕付肘掛け椅子》竹中工務店

2019年
7月13日⑤～9月8日⑩

開館時間／10:00～18:00(入館は17:30まで)
休館日／月曜日(ただし7月15日と8月12日は開館)、7月16日、8月13日
◎入館料／一般1,000(800)円／大高生・65歳以上800(600)円／中学生以下無料
※障がいのある方とその付添者1名は無料／()内は20名以上の団体料金
※目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと同団体料金になります
(他の割引との併用はできません)

目黒区美術館

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36
Tel. 03-3714-1201 / <https://www.mmat.jp>
メルマガ会員募集中
<https://service.sugumail.com/mmat/>

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協力：竹中工務店、アルファコックス、メガソフト、ASUS JAPAN 株式会社 協賛：ライオン、
大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網、サッポロホールディングス株式会社

近代京都の洋画家・太田喜二郎と、近代京都の建築家・藤井厚二。本展は、絵画と建築というジャンルの異なる二人について、その交流を通じ紹介することで、日本の近代文化の一側面に光をあてます。

太田喜二郎は東京美術学校(現・東京藝術大学)を卒業後、ベルギーに留学し、明るい光を印象派風の点描で描く技法を身につけました。そして帰国後は、日本の柔らかな光を描く方法を模索しました。一方、藤井厚二は東京帝国大学(現・東京大学)を卒業、竹中工務店に勤務した後、欧米を視察、帰国後は西

洋の技術を取り入れながらも、日本の気候風土に合う住宅を追究しました。その究極が、大山崎にある自邸「聴竹居」(重要文化財)です。

京都帝国大学(現・京都大学)建築学科でデッサンを教える講師として招かれた太田は、同じ頃に講師として着任した藤井と知り合います。やがて、太田は自邸の設計を藤井に任せ、また二人は茶事などを通じて交流を深めていきます。本展は、そんな太田と藤井の仕事、新発見の資料などを踏まえて、絵画と建築をクロスさせた新しい視点から紹介します。



太田喜二郎《樹陰》1911年／京都市美術館



太田喜二郎《田植》1916年
東京国立近代美術館



藤井厚二《太田邸新画室(アトリエ)》
1924年竣工 1931年増改築
写真:古川泰造 写真提供:竹中工務店



《太田邸模型》2019年／制作:二星大輝
協力:松隈洋研究室 京都工芸繊維大学
写真:市川靖史



藤井厚二《聴竹居 居室》1928年
写真:古川泰造 写真提供:竹中工務店



藤井厚二《聴竹居 縁側》1928年
写真:古川泰造 写真提供:竹中工務店

★関連イベント

① 講演会「太田喜二郎と藤井厚二」

日時:7月13日(土)14:00~15:30
講師:植田彩芳子(京都文化博物館 学芸員)
定員:70名/参加方法:当日先着順

② 講演会「新しい芸術と藤井厚二の建築」(事前申込制・先着)

日時:7月14日(日)14:00~15:30
講師:藤森照信(東京都江戸東京博物館館長)
定員:申込先着 70名

参加方法:事前申込制。下記の申込に必要な情報①~③を、下記の方法により、6月25日より先着受付開始します。

- ①氏名②住所③電話番号、ファックス、メールなどの連絡方法
・メールで▶目黒区美術館ホームページの申し込み専用フォームから
・ファックスで▶03-3715-9328 講演会担当宛て(①~③までを必ず明記)
・ハガキで▶〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36 講演会担当宛て(①~③までを必ず明記)

③ 対談「建築家・藤井厚二を語る」

日時:8月24日(土)14:00~15:30
パネリスト:谷藤史彦(ふくやま美術館 前副館長)×松隈 章(竹中工務店、聴竹居倶楽部代表理事)

定員:70名/参加方法:当日先着順

④ 大人のための美術カフェ1「太田喜二郎とベルギー」

日時:9月1日(日)14:00~15:00/ナビゲーター:山田真規子(当館学芸員)
定員:50名/参加方法:当日先着順

⑤ 大人のための美術カフェ2「太田喜二郎邸の謎」

日時:9月7日(土)/9月8日(日) 各日14:00~15:00
ナビゲーター
7日(土):河村容治(元東京都市大学教授、本展太田喜二郎邸CG復元映像制作者)
8日(日):7日収録のビデオの上映後に当館学芸員によるミニトーク

定員:50名/参加方法:当日先着順

※上記①~⑤について、いずれも、会場は1階ワークショップ室にて(④は、鑑賞は展示室で行います)。聴講は無料ですが、当日有効の本展観覧券が必要。

⑥ 藤井厚二建築ガイドツアー「聴竹居」+「八木邸」(事前申込制・抽選)

日時:7月20日(土)10:30~16:00
ナビゲーター:松隈 章(竹中工務店、聴竹居倶楽部代表理事)、降旗千賀子(フリーランスキュレーター)他
訪問先:藤井厚二設計「聴竹居(藤井自邸)」京都府大山崎町、「八木邸」大阪府寝屋川市
定員:20名(高校生以上)

参加費:一人5,000円(交通費は自己負担、昼食代・資料費・保険代込)
参加方法:事前申込制。申込に必要な情報①~③を、下記の方法により、7月2日(火)から7月4日(木)まで(ハガキの場合は消印)受付し、抽選します。なお、当選通知は建築ツアー案内の発送をもってかえさせていただきます。抽選にもれた方への通知はございませんので、予めご了承ください。

- ①氏名②住所③電話番号、ファックス、メールなどの連絡方法
・メールで▶目黒区美術館ホームページの申し込み専用フォームから
・ファックスで▶03-3715-9328 建築ツアー担当宛て(①~③までを必ず明記)
・ハガキで▶〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36 建築ツアー担当宛て(①~③までを必ず明記)
・京都大山崎の集合場所に所定の時刻にお越し頂き、ナビゲーターがご案内します。交通費は各自ご負担いただきます。ツアー終了後に、現地解散します。
・詳細は、参加決定者に別途ご案内します。

交通情報

- ・JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線「目黒」駅(西口)から徒歩10分
- ・東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅から徒歩20分
- ・東急バス「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩5分、「田道小学校入口」(山手通り)下車徒歩3分
- ※目黒区民センター隣接
- ※当館には来館者専用の駐車場はありませんので、電車・バスなど公共交通機関をご利用ください。
- ※お車でお越しの場合は隣接の目黒区民センターの駐車場(有料)をご利用ください。

